

生産設備保全技術科

ハローワーク求人検索ワード H. 建築・土木・電気工事 ⇒ 『電気作業』 B. 専門・技術・教育 ⇒ 『機械・電気技術』 I. 製造・修理・製図印刷・検査 ⇒ 『機械組立・修理』・『製図・写図・現図工』



定員

各15名

費用等

- テキスト・実習服等の費用 約 6,000 円

資格関係

- ◆ 訓練受講中に取得できる資格
 - 低圧電気取扱業務に係る特別教育
- ◆ 任意で取得可能な資格（試験月）※
 - 第二種電気工事士（筆記試験：6月又は10月、技能試験：筆記試験の約2ヶ月後）
 - 技能検定【機械保全 電気系保全作業】（7月、1月）
 - 技能検定【電気機器組立てシーケンス制御作業 3級】（1月）
 - 技能検定【電子機器組立 電子機器組立作業】（7月、1月（3級））

※訓練期間中、受講生のみなさんが習得した技能を活かして任意に受験して取得できる資格の一例です。（但し、合格を保証するものではありません。詳細は各実施機関へお問合せください。）

4月 10月 シーケンス制御技術 (FA)

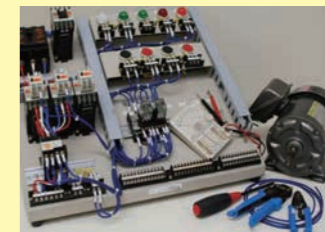


▲PCによってランプとスイッチを制御

電気理論の基礎知識及び測定機器の取扱いを習得します。その後、自動化システムにおいて必要なシーケンス制御の関連知識・技能を習得します。

- 電気理論
- 有接点シーケンス
- PC制御

7月 1月 制御機器保全



▲電動機（モータ）を動かす装置の保守

電気回路の基礎知識及び測定機器の取扱いを習得します。その後、電動機を中心とした電気制御装置の保守に関する技能・知識を習得します。

- 電気回路（基本）
- 電気系保全基礎
- 電気系故障発見・復旧

5月 11月 FAシステム要素技術

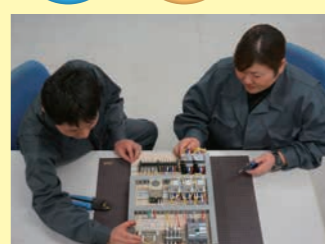


▲タッチパネルによる制御

PLCを用いてセンサ・タッチパネル・モータ等を制御します。また、多くの生産現場で用いられる空気圧制御を習得します。

- PC制御（センサ）
- 空気圧制御
- 電気空気圧制御

8月 2月 制御盤製作



▲制御盤制作実習

制御盤製作にかかる仕様書の作成、設計、加工、配線等に関する技能及び関連知識を習得します。

- 制御盤の仕様
- 制御盤製図
- 制御盤加工、機器の取付け
- 配電・配線

6月 12月 PLC制御技術・自動化システム製作

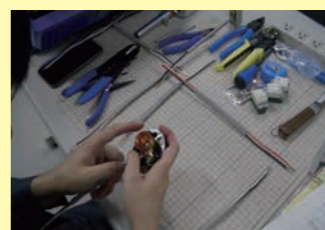


▲タッチパネルで動作する自動搬送装置の製作

PLCによる位置決め制御を習得後、実際に自動化システム的设计・製作を行います。

- PLC制御（位置決め）
- 自動化システム（設計）
- 自動化システム（配線）
- 自動化システム（制御）

9月 3月 電気工事・省電力制御



▲電気工事の実習風景

一般用電気設備の施工に関する技能及び関連知識を習得します。また、省電力に寄与するインバータについて理解し様々な制御方法について技能及び関連知識を習得します。

- 電気工事
- PC制御（インバータ）

H28年度
就職率

57.1%

H29年度
就職率

86.4%

H30年度
就職率

76.9%

※H30年12月20日時点

修了生の声



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——



H30年9月修了生
(20代 男性)

私にはものづくりの経験はありませんでしたが先生方の指導の下、楽しんで訓練を続けることが出来ました。訓練は仕事の現場で必要な知識だけではなく、世の中の機械や設備がどのようにして動いているのかを知ることができ、現在でも様々な場面で仕事の役に立っています。また、この訓練を通じて機械保全技能士（電気系保全作業）と第2種電気工事士の資格を得ることもでき、この業界の経験が全くない私の自信にも繋がりました。これからも更なるスキルアップを目指して頑張ります。

どんな科?

生産工場の自動化に必要な知識と技術を習得します。PLCによる自動化システムの制御、電気機器、制御機器の取り扱い及び保全・改善、設計・製作法に関する知識・技能を習得します。また、近年の自動化機器の操作によく用いられるタッチパネルの制御方法や、省エネでモータを制御できるインバータ制御についても学びます。

こんな人におすすめ!

- 細かい作業が好き、慎重さがある
- 段取り上手、想像（イメージ）力がある
- パソコン操作に抵抗がない
- 装置を思い通りに動かしたい
- 自動で動くものに興味がある

主な就職先(職種)

- 電気制御技術者
- PLC制御技術者
- 自動制御装置保守
- 制御盤製作
- 電気設備保全

担当講師からのひとこと

工場でものを運ぶベルトコンベア、人を運ぶエレベータ、私たちを楽しませるテーマパークのアトラクション。これらの装置はすべて、自動で動いています。当科ではこのような「自動で何かをする装置」の制御方法を学びます。近年の生産現場において、ものを作る装置の自動化はどんどん進んでいます。これからの産業の基幹である自動制御に興味のある方は是非受講ください。